



2020年9月 第192号

発行人 茶木 登茂一

電話・ファックス 03-3877-6035

メールアドレス t_chaki@mte.biglobe.ne.jp

| 1

トピックス 亀戸 SC 教室・10月から再開へ！

亀戸スポーツセンター主催教室としての再開はコロナ禍の関係でできない状況ですが、小生が主催する自主団体方式として実質的に再開できることになり、以下により目下参加者を募集中です。コロナの関係で人数制限がありますので、参加ご希望の方は至急小生あてご連絡ください。

名称； 健康太極拳・亀戸 SC 会

開催目標； 令和2年10月第1週から

開催日時； 毎週火曜日 午前9時15分から、当面1時間15分程度

開催場所； 亀戸スポーツセンター3階・小体育室（従来と同じ）

会費； 1回600円程度を想定（参加者数による）

募集人員； 30名程度（三密回避策による人数制限）

なお、これに先立って9月8日、15日、22日、29日の各火曜日、4回、午前9時15分から約1時間、同スポーツセンター裏の広場で野外太極拳を実施します。参加自由。参加費1回300円。雨天中止。また、スポーツセンター1階ロビーでも、9月1日から、大型デジタルサイネージ（電子看板）とポスターにより本件をPRします。

閑人閑話 コロナに負けず長寿健診今年もほぼ合格

満86歳を迎えて、またコロナ禍のさなかで、8月8日に今年の長寿健診をうけましたが、結果は右表の通りでした。

肝機能、血清脂質、糖尿病については全く問題無い数値でしたが、痛風については尿酸値が上限の7.0まで達したので、ちょっと気になるところです。

血圧については、ご覧のように、

項目		健診基準値	数値	昨年
体重	KG	—	66	67
肝機能	γGTP	15~50	27	20
痛風	尿酸	7.0以下	7	6.3
血清脂質	HDL	40以上	59	62
	LDL	119以下	90	100
糖尿病	血糖値	139以下	102	89
血圧	最高値	129以下	164	173
	最低値	84以下	91	81

かなり基準値より高い値でした。ただ、自宅での計測値は、朝の値で最高150ぐらい最低80ぐらいであることを説明して先生のご理解を得ましたが、警戒すべきレベル、あるいは減塩、節食、節酒などを心がけるべき状況とのご指摘を受けました。とくに今年は、酷暑で心臓に過度の負担がかかっているのかもしれないし、また、3月以来の引きこもり生活で晩酌の量がちと増えているためかもしれません。いずれにせよ、降圧剤は飲みたくないの、今後も毎日の運動を怠らずに、体重管理、血圧管理に努めたいと思います。【なお、ご高齢の方で高血圧にお悩みの方も多いのでは

ないかと思いますが、降圧剤によらず、自力で血圧を下げることをお勧めします。その詳細は「雲の手通信 2019 年 10 月第 182 号」の『薬に頼らずに血圧を下げる方法』をご参照ください。】

体重は結果的には昨年比マイナス 1 キロとなっていますが、実は 3 月にすべての教室や他の行事が中止となってしまい、まさに塾居状態になったら、半月ほどでたちまち 68 キロ近くまで増えてしまいました。そこで毎朝、晴雨にかかわらず、散歩と太極拳を実行、さらには腹筋運動も加えて、現在何とか 66 キロ台でキープできているということです。もちろん 3 時のおやつもごく少量に抑えています、なかなかお酒の量を抑えられないのが悩みの種です。

左顧右盼 第23話 『インドについて勉強しました』(第12回)

第 23 章 女性へのさらなる差別

女性はヒンドゥー教においてはシュードラに相当する地位とみなされているので、結婚も、当事者の意向は無視されがちです。とくに女性にとってきわめて理不尽な慣習、たとえば、夫が死んだ場合には、寡婦は夫とともに火葬されるという「サリー」という習慣、あるいは寡婦は再婚出来ないという習慣、女性側にのみに課せられる高額な持参金制度「ダウリー」、女性の相続権の否定、などがありました。また幼児婚、児童労働、も同様大きな問題となっていました。

サリーやダウリーなどはその後法律で禁止されていますが、ダウリーについては現在でも残っているというので驚きです。持参金が花嫁の父親の年収の 10 倍以上とか、これが払えずに、自殺したり、花婿側親族に殺されたりする例が近年でも年間 8000 人ぐらいいるとされています。また、上位カーストによる下位カーストの女性への性的暴行は現在でも大きな社会問題となっています。



男どもに散々に凌辱された女性がその後山賊の親分となり、その男ども 22 人を順番に血祭りに上げた「女盗賊プーラン」【右は日本でも出版された自叙伝】は世界的に有名になり、(日本にも 2 度来ています。) その後国会議員として活躍していましたが、けっきょく、殺された男の親族の復讐で 2001 年に暗殺されました。

ともあれ、さまざまな改革案もあり、一部は実行されましたが、あのガンジーすら、“もし、カースト制度を破壊すれば、それはヒンドゥー教の根幹を揺るがすことになり、インド自体が崩壊する”と強硬に主張し続けたことに、この制度の根の深さが読みとれます。しかし、一方、ガンジーは、それまでは「ダリット(抑圧された者)」と呼ばれていた不可触賤民を「ハリジャン(神の子)」と呼び換えることと、その保護と解放を強く主張しました。つまり、“インドはイギリスによって不法に差別され支配されている。これに対して戦っている我々が、自らそのような支配と差別を同じ民族内に抱えていることは許せない”ということです。(でも、カースト制度そのものは必要であるというのが終始ガンジーの矛盾した主張でもありました。)

第 24 章 矛盾に満ちた憲法

従って、独立後 1950 年に施行されたインド憲法は以下のようにになりました。憲法前文では、インド国民が主権を持つ民主共和国を実現する決意を明らかにし、公民すべてが社会的・経済的・政治的な正義、思想・表現・信条・信仰・崇拜の自由、地位・機会の平等を確保し、個人の尊厳と国家の統一をもたらす友愛を促進することを規定しています。

- ① カーストについては、第 15 条で、“国家は公民に対し、宗教、人種、カースト、性、出生地、またはそのいずれかによって差別は行わない。” また“商店、飲食店、旅館、公衆娯楽場への立ち入りや、井戸、水槽、沐浴階段、通路なども平等に使用することを妨げない。”とも規定されています。
- ② 不可触賤民については、第 17 条で、“不可触賤民は廃止され、すべての形式の行使も禁止される。不可触賤民であることを理由にしたあらゆる無資格を強制することは法律によって処罰の対象となる。” つまり、カースト制度そのものは否定されず、ただ“差別すること”を禁じたと言うことなのです。その後、さまざまな現実的な法律的な対応がなされていますが、依然として、カースト制度も、また不可触賤民もインドに現存しているということなのです。

また、不可触賤民については、すでに 1930 年のインド統治法において、国会議員と州会議員での特別枠が設けられていて、彼らの政治的進出を助ける制度となっています。(まさに、新仏教を興したビームラーオ・ラームジー・アンベードカルも、この制度によって国会議員となり、活躍することが出来たわけです。) また、中央、地方の官僚・職員などにも同様特別枠がありますが、現在ではこれらが逆差別だとの声もあるようです。

インドの歴史について勉強してみましたが、インド社会の現状についてはなかなか複雑で、よくわからないということがよくわかりました。これが当面の結論です。

余話 インドの国旗

インドの国旗【右】は、サフラン・白・緑の横三色の中央に「法輪」を配しています。



サフランはヒンドゥー教、緑はイスラム教、白は二宗教の和解とその他の宗教を表すとされています。



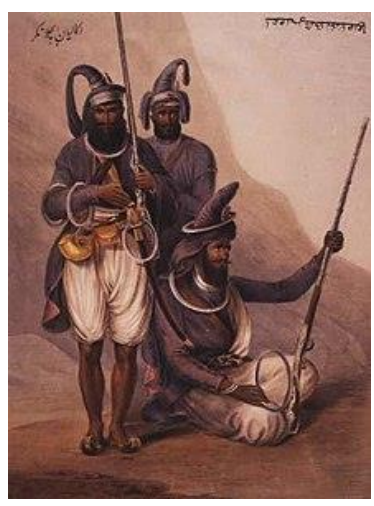
中央の「法輪」は、仏教に帰依したアショカ王が仏塔などに刻んだ法輪を意味しています。もともとは、アーリア人のシンボルの車輪を意味していました。つまり、当時の大発明であった車輪(ひいては馬車、馬車戦車)を駆使した戦力、移動力によってインドに侵入し支配したからです。その後インド神話の世界では、ヒンドゥー教の神々の扱う空飛ぶ武器「チャクラ」【左上。右手の指さきの黄金の輪】にも変じています。

その後インド神話の世界では、ヒンドゥー教の神々の扱う空飛ぶ武器「チャクラ」【左上。右手の指さきの黄金の輪】にも変じています。



また、実際にも 19 世紀ぐらいまで、インドの一部部族では「チャクラム」と呼ばれる投擲武器として使われていました。【右】

ヨーガにおいて「チャクラ」は、人体各部の中核(エネルギーの集まる場所)を意味する言葉です。【左】また日本の仏教界ではこれを「法輪」と称してシンボルマークとして使っています。



(インドの話はこれで終了です。)

ロシアには、ソ連邦時代に二度仕事で訪れました、といっても首都のモスクワだけですが、最初に行ったのは1981年の2月でした。

定番のお土産「マトリョーシカ人形（入れ子人形）」なども買って来た記憶はあるのですが、いつしか散逸してしまい、わずかに今残っているのは、数葉の写真だけです。この写真は宿泊した当時モスクワで一番といわれたウクライナホテルの玄関前での同行の諸氏とのワンショットですが、現地で用意してもらった毛皮の帽子をかぶっている思い出の一葉です。

当時のソ連は、秘密主義、官僚主義、統制経済の時代でしたので、いろいろとユニークな体験をしました。空港に着いた時から始まり、ホテルでも、一般の商店でも、全くサービス精神のない冷たく荒っぽい扱いを受けましたので、なるほどこれが共産主義国家なのかと身をもって体得することができました。

渡航前に、ソ連に精通している商社からレクチャーを受けましたが、その一つは、ホテルの部屋は盗聴、盗写されていることを承知しててください。二つには、ホテル内に徘徊しているロシア美人の誘いには絶対に乗らないでください。——という恐ろしくも可笑しい内容でした。

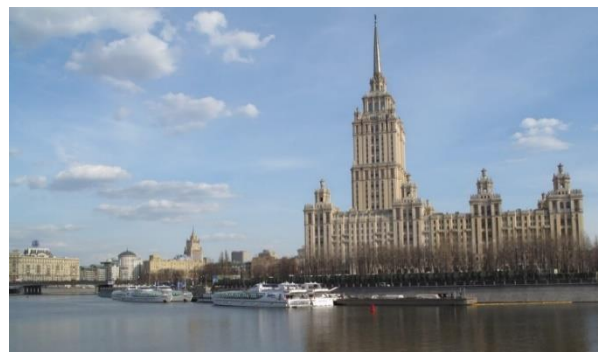
これは同じ共産主義国家の中国でも全く同じで、ホテルの部屋はおろか、国際電話やテレックスなどもすべて盗聴、盗読されているというのが当時の業界内での共通した理解でした。

また、渡航前に依頼されて、日本企業の大型カレンダーと、そしてカード型のカレンダーを大量に持ち込みましたが、これらは、水道の修理とか、お役所の手続きとか、すべてについて動きの鈍いあちらの官民の方々に気持ちよく動いてもらうための魔法の品なのだと言明を受けました。つまり当時の計画経済のソ連にはこうした商業主義的なサービス商品は皆無だったから、彼らにとってはとても魅力的でかつ貴重なものだったのです。シャープペンシルやボールペンにも絶大な力があつた時代でした。

ソ連についての私の唯一の良い思い出は、翌年の5月に再訪した時のモスクワの自然の美しさです。市内の真ん中を大きく蛇行して流れるモスクワ川の河畔に咲き乱れる花々と、白樺の幹の白さと新緑のコントラストが今でも目に浮かびます。

試みにインターネットでモスクワ川の画像を検索したら、右の画像が見つかりましたので、ご

紹介します。正面が私たちが泊まっていたウクライナホテルで、川のこちら側がちょうど赤の広場です。今は観光船などが浮かんでいますが、当時はそのようなものは全くありませんでした。ソ連からロシアへと大きく変貌したこの40年の時間の流れをつくづくと感じさせる写真ではあります。



旅をうたい拳を詠む 雑詠3首

久々に水の通りし公園の水路に子らの歓声戻る

池波の四大作を読破せり長い蟄居の暇にあかせて (鬼平・梅安・剣客商売・真田太平記)

世界中不吉な予兆次々と特に妖しき中東・中国